

保護者様

我孫子市立我孫子第四小学校
校長 岸本光司

学校教育活動(教師・保護者・児童)アンケート集計結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度の学校評価(自己評価)及び保護者アンケート、児童学校生活アンケート集計がまとまりましたので、ご報告いたします。

今回の結果を真摯に受け止め、教職員一同、子供たちの一層の成長を願い、より良い教育活動に努めてまいります。今後とも、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

1. 集計数

	在籍数	集計数	回収率
児童	868	828	95.4%
保護者	868	520	59.9%
教職員	45	45	100.0%

※学校運営協議会委員の皆様の回答を含む

2. 集計内容

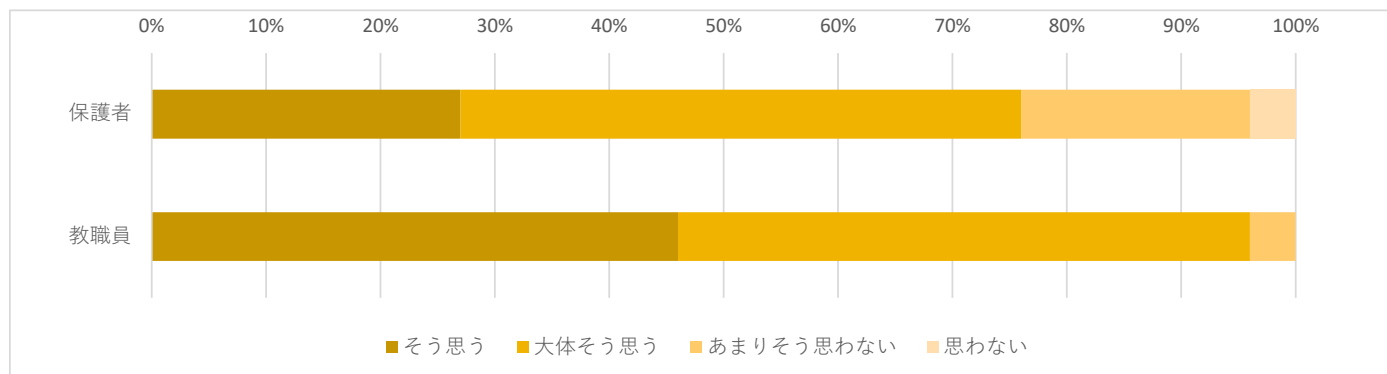
※児童の集計結果については、同時期に実施した「学校せいかつアンケート」の中から関連のある項目を記しています。

※表内の数字、及びグラフ表示は百分率(四捨五入して整数)で表示しています。

(1) 【小中一貫教育の推進】について

①白山中学校区では、小中一貫教育の充実に努めている。(白山中区3校合同職員研修、教育ミニ集会、児童会生徒会の交流、小中一貫の日等)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	27%	49%	20%	4%	100%
教職員	46%	50%	4%	0%	100%



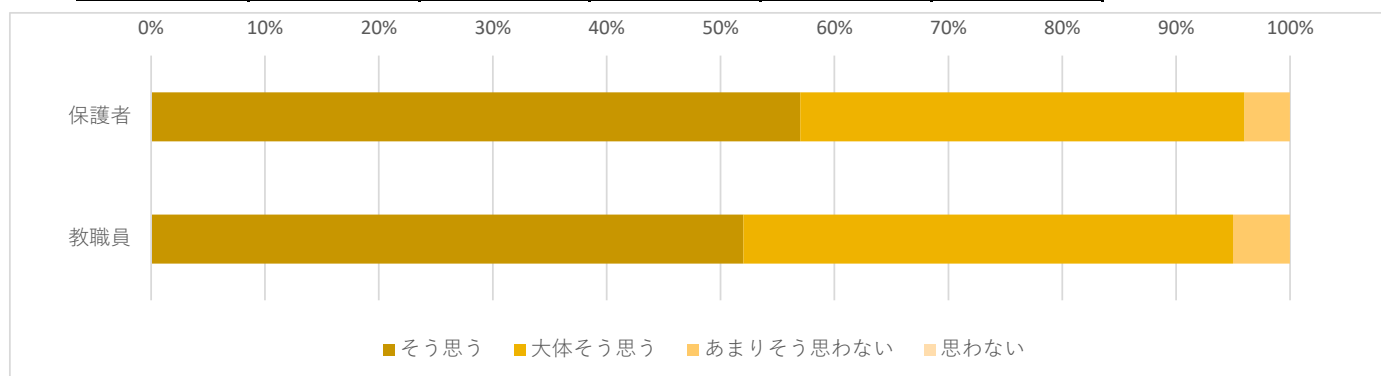
(考 察)

保護者と教員との回答結果に違いが大きく見られました。

小中一貫というと、一貫校や小中一緒の活動をイメージするかと思いますが、我孫子市ではカリキュラムで小中を接続しています。その部分は目に見えてわかるものではないため、わかりにくい部分があるかと思えます。今後は、我孫子市での取り組みをわかりやすく伝えるとともに、小中での取り組みも続けていきます。

- ② 「郷土愛を育てる教育の推進」のために、ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子どもを育てる教育を行っている。（1年生「船戸の森探検」、2年生「町探検」、3年生「我孫子市の学習」、4年生「わたしたちの我孫子を活用した市の水道やごみ処理の学習」、5・6年生「ふるさと我孫子の先人の学習」等を実施）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	57%	39%	4%	0%	100%
教職員	52%	43%	5%	0%	100%

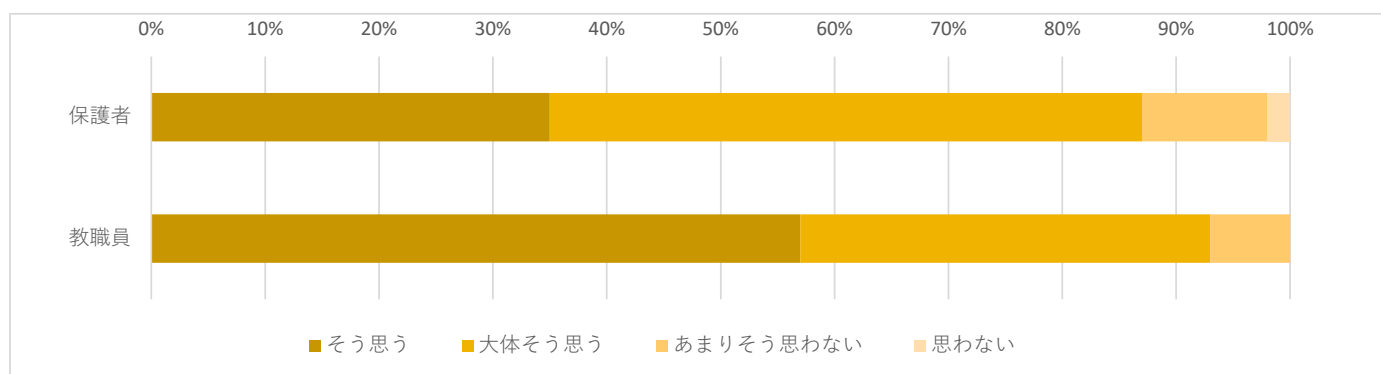


〈考 察〉

保護者と教員に意識の差はほとんど見られませんでした。
今後も、地域とのつながりを実感できるような学習を進めてまいります。

- ③ 「学びを育てる教育の推進」のために、確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子どもを育てる教育を行っている。（「5・6年生での教科担任制」「テレビやPC・タブレットを活用したICT学習」「学びタイムを使った短時間学習」、5年生「SDGsの学習」、6年生「SDGsの学習」「職業を知るキャリア教育学習」等を実施）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	35%	52%	11%	2%	100%
教職員	57%	36%	7%	0%	100%

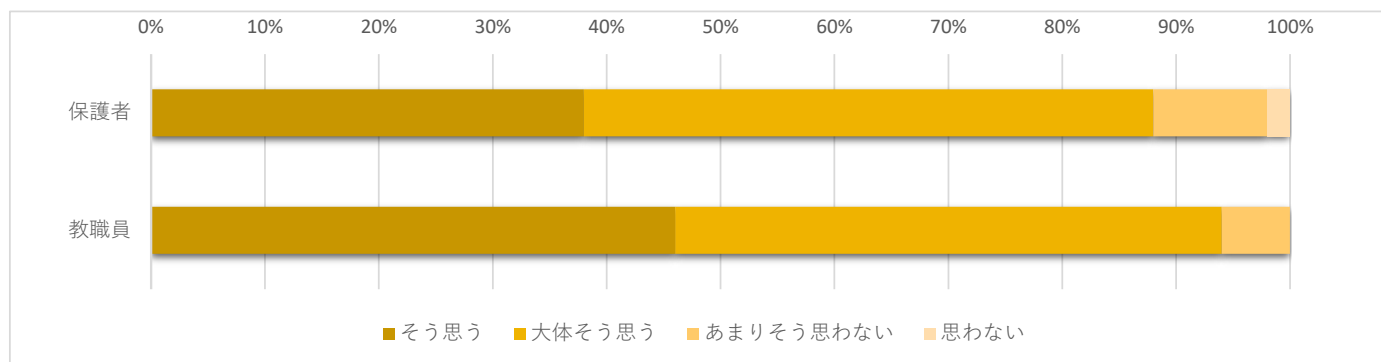


〈考 察〉

保護者は87%、教職員は93%が肯定的回答です。
一人一台端末を活用した学習は、回を重ねることに定着していきます。さらに学習内容を工夫し、体験的な活動を充実させることで、子どもたちの成長を実感していただけるよう努めてまいります。

- ④ 「こころを育てる教育の推進」のために自分に自信を持ち、自他を大切にする子どもを育てる教育を行っている。（「6月・11月・2月の教育相談月間」「道徳の学習」「児童会・生活委員会が行うあいさつ運動」「募金活動」「異学年との月例リレー」「1・6年生の交流」「部活動（4年生以上）」等を実施）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	38%	50%	10%	2%	100%
教職員	46%	48%	6%	0%	100%



〈考 察〉

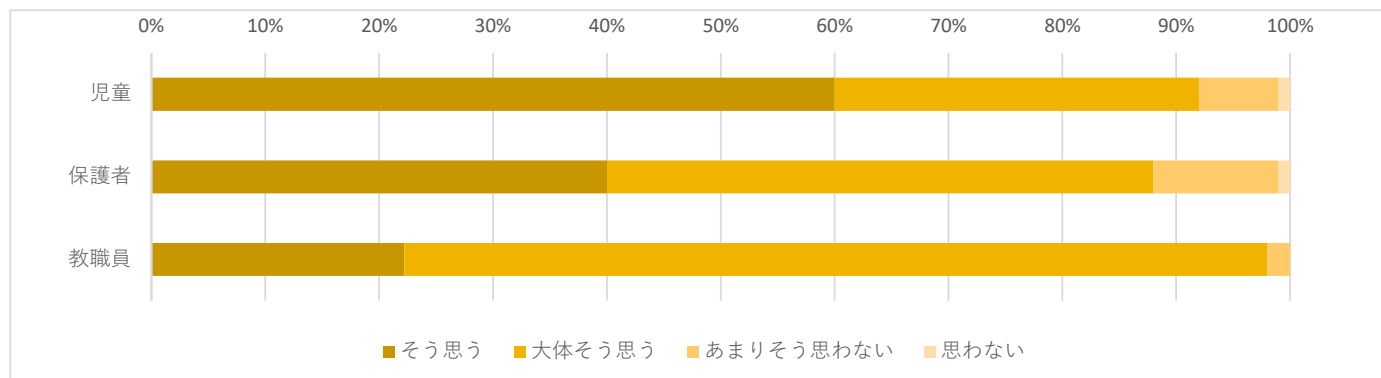
保護者88%、教職員94%が肯定的な回答でした。
 心の成長には、学校では道徳の学習や教育相談の充実、異学年の交流をさらに充実させたいと考えております。また、心の育成には、ご家庭のご指導、ご支援が欠かせません。保護者の皆様と連携し、子どもたちが自信を深め、相手を思いやる心を育めるように、進めてまいります。

(2) 【学校教育目標実現のための教育活動】について

① 基礎・基本的な知識理解技能の定着

- ・ お子様は、学習した内容が身に付いていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉
- ・ 学校の勉強はよくわかりますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
児童	60%	32%	7%	1%	100%
保護者	40%	48%	11%	1%	100%
教職員	22%	75%	2%	0%	99%



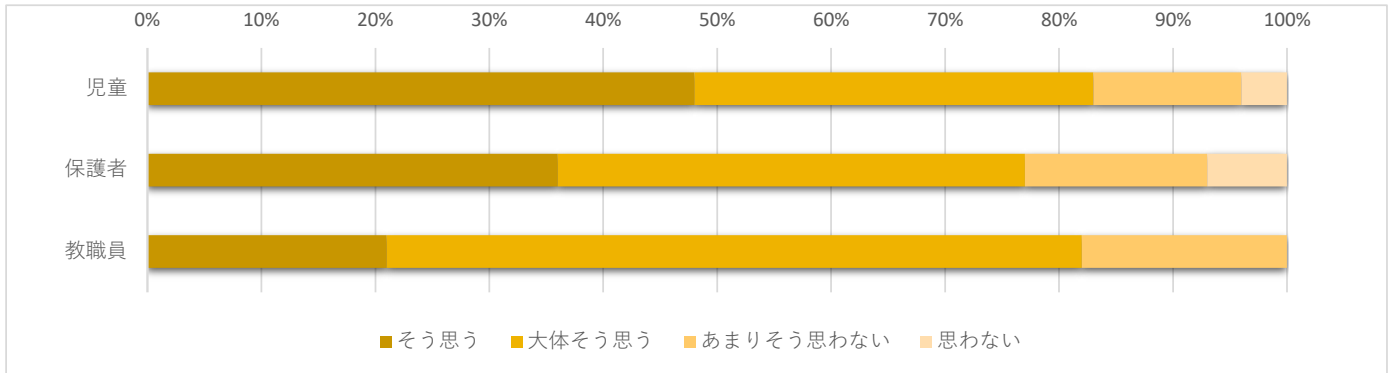
〈考 察〉

児童92%、保護者88%、教員97%が肯定的回答でした。
 児童の肯定的回答が9割を越えていることは、学校として嬉しいことです。これも、ご家庭でのご支援があつてのことと考えています。しかし、少ないながらも学習が定着していないと感じている児童や保護者の皆様もいます。今後も教職員一同、学ぶ喜びを味わい、児童が学習の定着を実感できるように指導できるよう研修を積んでいきます。

② 基礎・基本的な知識理解技能の定着

- ・ お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていますか。〈保護者・教職員質問項目〉
- ・ 家庭学習を進んでやっていますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	48%	35%	13%	4%	100%
保護者	36%	41%	16%	7%	100%
教職員	21%	61%	18%	0%	100%



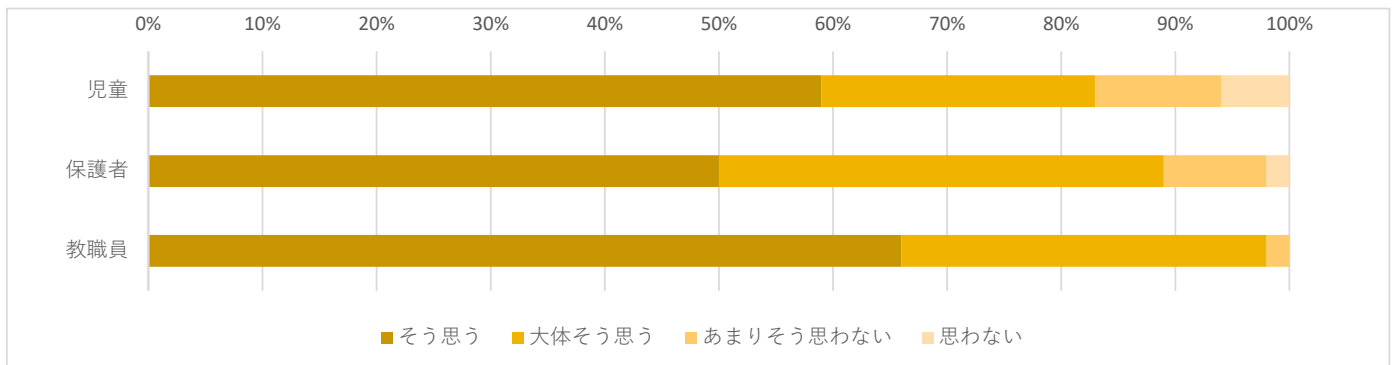
〈考 察〉

児童 83%、保護者は 78%、教職員は 82% が肯定的回答でした。
 家庭学習といえば、宿題を考えるとします。その宿題は、同じ学級でも、多いと感じる児童（保護者）と少ないと感じる児童（保護者）がいます。課題にかかる時間、放課後や休日の習い事など、一人一人の背景によって感じ方が異なるようです。学校において家庭学習を定着させることの難しさを感じます。家庭学習にとらわれることなく、児童の学習の定着を目的として方策を検討します。

③ 健康な心とたくましい体の育成

- ・ お子様は、体育の学習（運動会・縄跳び・リレー・持久走）を通して、体力作りを行っていますか。〈保護者・教職員質問項目〉
- ・ 体育（運動会・持久走・なわとび・リレーなど）をすすんでやっていますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	59%	24%	11%	6%	100%
保護者	50%	39%	9%	2%	100%
教職員	66%	32%	2%	0%	100%



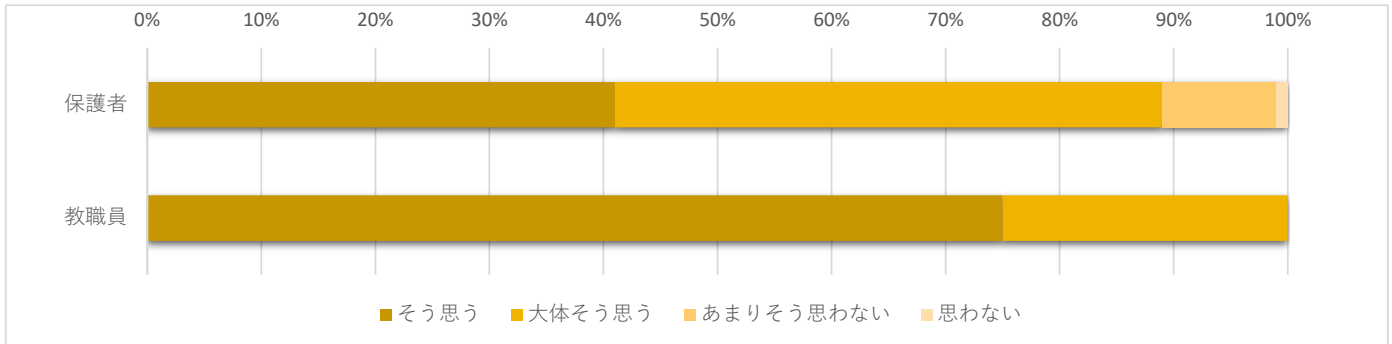
〈考 察〉

児童 83%、保護者 89%、教職員 98% が肯定的回答でした。
 本年度より水泳はセントラルスポーツの指導者とそのプールで学習しました。また、1～4年生児童は、担任とセントラルスポーツの指導者の2名体制で器械運動を実施しました。そのような取り組みが、回答結果に表れていると考えます。
 今後も体育の学習だけでなく、休み時間の遊びをとおしての体力づくりも充実させたいと考えます。

④ 健康な心とたくましい体の育成

- ・ お子様は、けがや病気、友達同士のトラブルがあった場合、状況に応じて解決しようと努めていますか。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	41%	48%	10%	1%	100%
教職員	75%	25%	0%	0%	100%



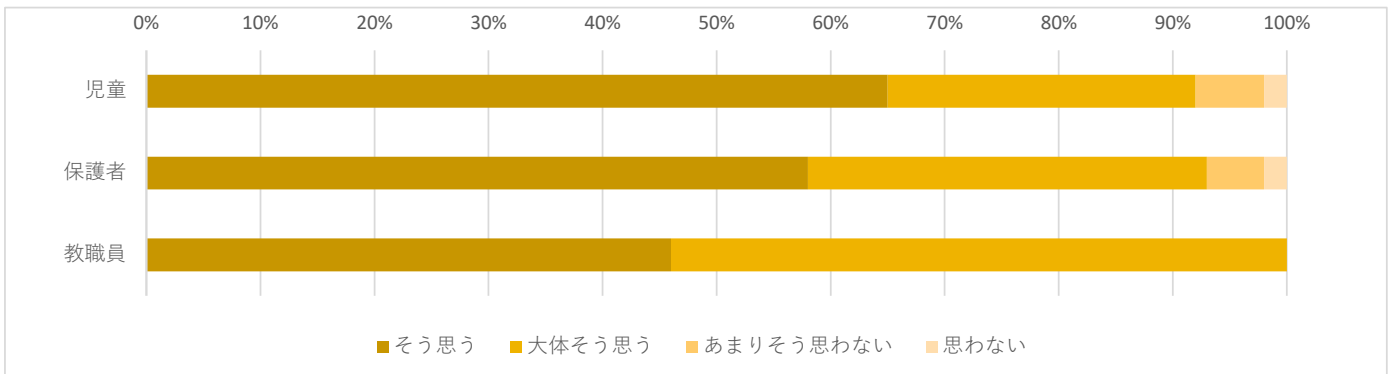
〈考 察〉

保護者 89%、教職員は100%の肯定的な回答でした。
 概ねご理解をいただいていると考えます。しかし、保護者の回答からは、トラブルを解決できていないのではないか、学校が気づいていないトラブルがあるのではないかと、という不安が読み取れます。
 お子様の怪我や病気、友達とのトラブル等、保護者にも知っておいていただき、ご協力いただきたい事柄は、今後も丁寧に連絡する必要があると考えています。

⑤ 相手を思いやる気持ちの育成

- ・ お子様は、日頃の遊びや学習を通して、楽しく学校生活を送っていると思いますか。
 〈保護者・教職員質問項目〉
- ・ だれとでもなかよくし、楽しくすごしていますか。 〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
児童	65%	27%	6%	2%	100%
保護者	58%	35%	5%	2%	100%
教職員	46%	54%	0%	0%	100%



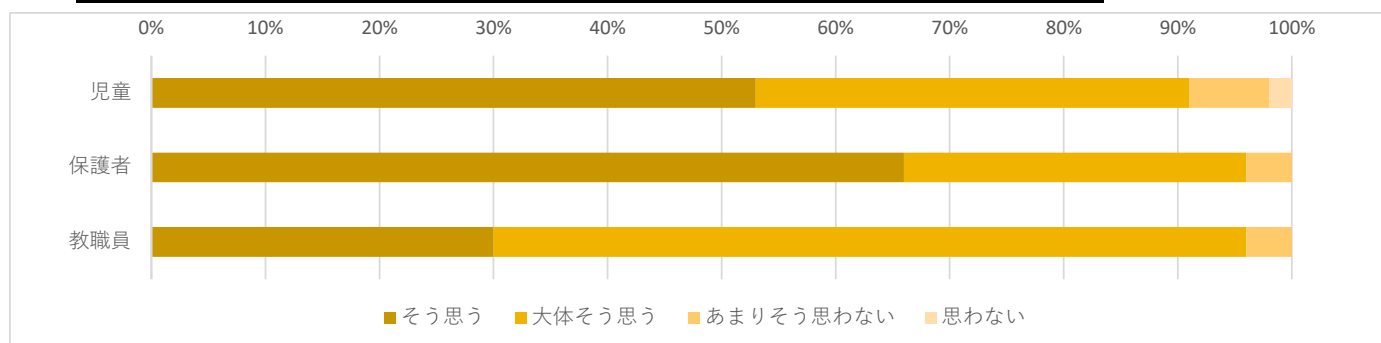
〈考 察〉

児童、保護者、教職員ともに肯定的回答が90%を上回りました。
 児童の回答結果から、多くの児童が安心して学校生活を送っていることがわかります。ただし、友達と仲良く過ごせていないと感じている児童がいるという事実を受け止め、よりよい人間関係を構築できるように丁寧に対応してまいります。そのために、教育相談を充実させ、いち早く児童の思いを受け止められるようよく聞き、よく見る姿勢を続けてまいります。

⑥ 相手を思いやる気持ちの育成

- お子様は、きまりやルールを守ろうとする意識が育っていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉
- 四小のやくそくや毎月の生活目標を守って、すごしていますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
児童	53%	38%	7%	2%	100%
保護者	66%	30%	4%	0%	100%
教職員	30%	66%	4%	0%	100%



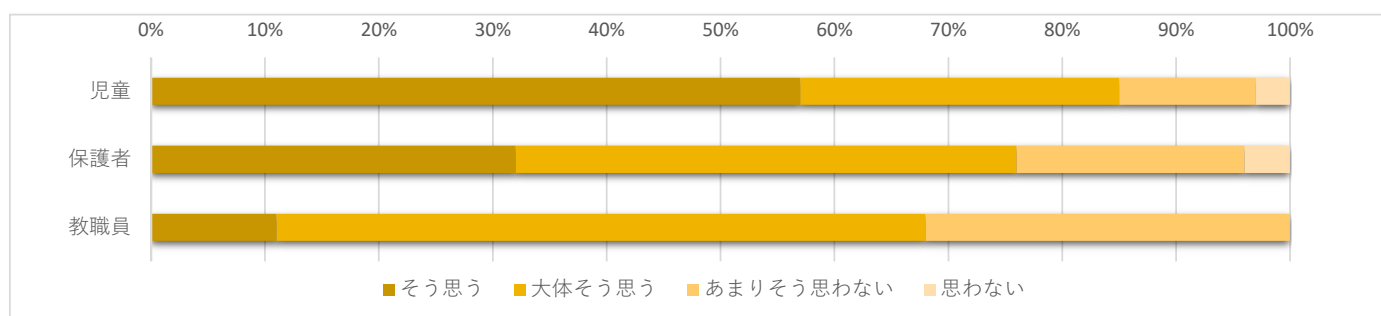
〈考 察〉

保護者、教職員、児童ともに肯定的な回答が90%を上回りました。児童は昨年度より10%程度、肯定的回答が増えました。様々なトラブルがある中でも、お互いに話し合っ解決したり、きまりを守ることで安心安全な学校生活が送れていることが増加に繋がっていると考えます。また、ご家庭での日頃のご指導のおかげと考えます。

⑦ 相手を思いやる気持ちの育成

- お子様は、友だちや先生、地域の方に、すすんであいさつをしていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉
- 友だちや先生、知っている人に、すすんであいさつをしていますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
児童	57%	28%	12%	3%	100%
保護者	32%	44%	20%	4%	100%
教職員	11%	57%	32%	0%	100%



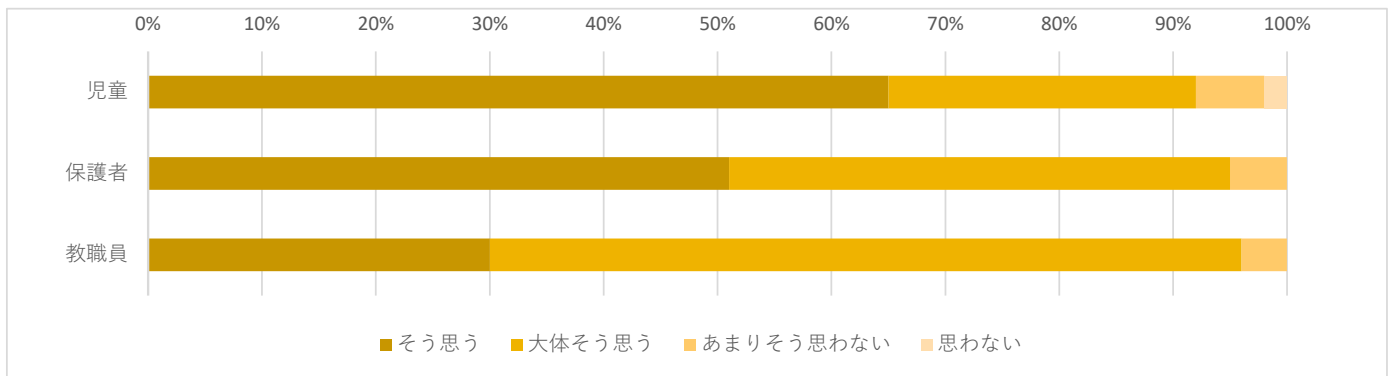
〈考 察〉

アンケートの中で、毎年肯定的回答が少ない質問です。あいさつは生活の中で基本となるものです。教職員一同、児童に強制させるのではなく、自ら率先垂範し、児童に挨拶を定着させたいと考えます。また、児童同士で挨拶が行きかうよう、学級内や委員会活動などで挨拶の大切さを広めて行きたいと考えます。ただし、学校だけでは難しいです。保護者の皆様も率先垂範をぜひ意識してみてください。厳しい結果は、保護者や教職員が、挨拶の大切さを理解し、重視しているからであるとも考えられます。様々な方策を検討し、実行していきます。

⑧ 相手を思いやる気持ちの育成

- ・ お子様は、他の人を思いやる気持ちが育っていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉
- ・ こまっている友だちがいたら、助けようとしていますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
児童	65%	27%	6%	2%	100%
保護者	51%	44%	5%	0%	100%
教職員	30%	66%	4%	0%	100%



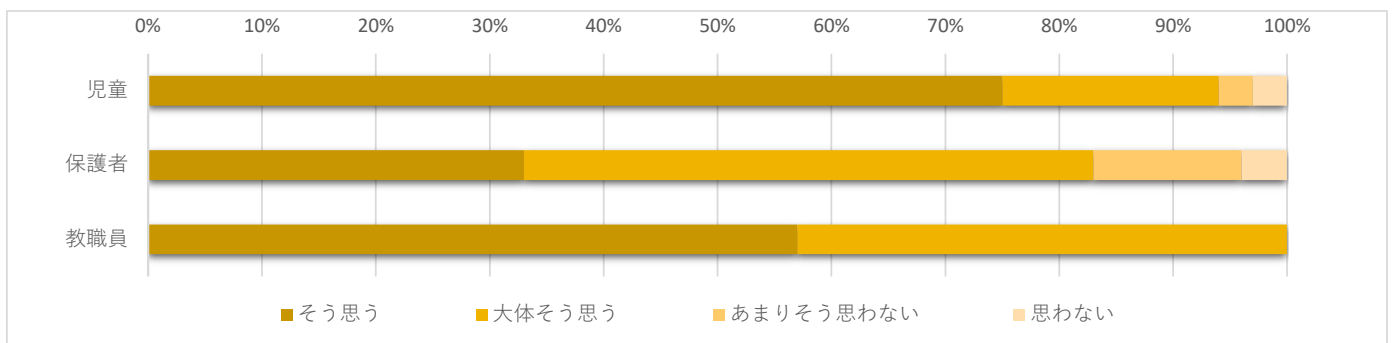
〈考 察〉

児童92%、保護者95%、教職員96%が肯定的な回答です。
 児童に思いやりの心が育まれているのは、ご家庭でのご指導、ご支援があつてこそだと考えます。
 引き続き、休み時間の遊びや、道徳の授業、「いのち・こころ・からだ」の学習等、様々な教育活動を通して、今後も思いやりの心を育てまいります。

⑨ 相手を思いやる気持ちの育成

- ・ 学校は、子どもたちの悩みや相談に真摯に応えたり、実態把握（アンケート等）を行ったりしていじめの防止、早期発見に努めていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉
- ・ 先生は、自分や友だちがこまっているときに、話をきいてくれますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
児童	75%	19%	3%	3%	100%
保護者	33%	50%	13%	4%	100%
教職員	57%	43%	0%	0%	100%



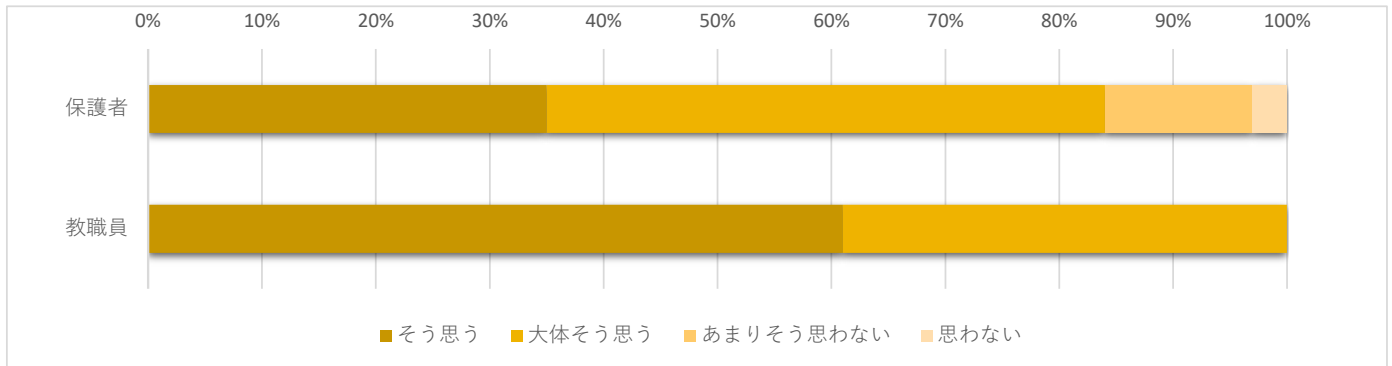
〈考 察〉

94%の児童からの肯定的回答から、子どもたちは話を聞いてくれていると感じていることがわかります。しかし、保護者の回答から更なる改善への期待を感じました。我孫子市内全小中学校では、いじめアンケート2回、QU検査2回、学校生活アンケート（本アンケート）を年間計画に基づいて行っています。また、本校では教育相談月間を各学期に1ヶ月間設け、一人一人と個別面談を行い、いじめの早期発見と解決に努めています。さらに教育相談を充実させ、児童が安心して通うことができる学校を目指してまいります。

⑩ 特別支援教育の充実

- 学校は、お子様や保護者の困り感に寄り添い、相談を受けたり、関係機関につなげたりしていると思いますか。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	35%	49%	13%	3%	100%
教職員	61%	39%	0%	0%	100%



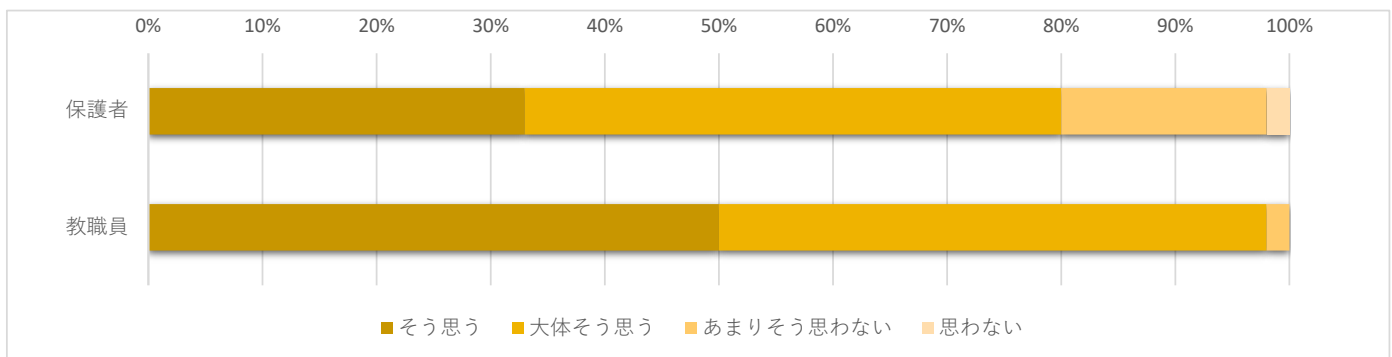
〈考 察〉

学校では学期内に一月「教育相談月間」にて、保護者の皆様と面談（希望制）する機会を設けています。また、学校には、特別支援コーディネーターや教育相談の担当者が複数名おり、保護者からの相談を受けたり、関係機関を案内したりしています。また、心の相談員に加え、スクールカウンセラーも配置されており、支援体制を確立しています。教育相談を活用していただけるよう周知してまいります。

⑪ 特別支援教育の充実

- 学校は、個々の児童のニーズに応じた教育的支援（個に対する説明の工夫や視覚による支援等）に努めていると思いますか。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	33%	47%	18%	2%	100%
教職員	50%	48%	2%	0%	100%



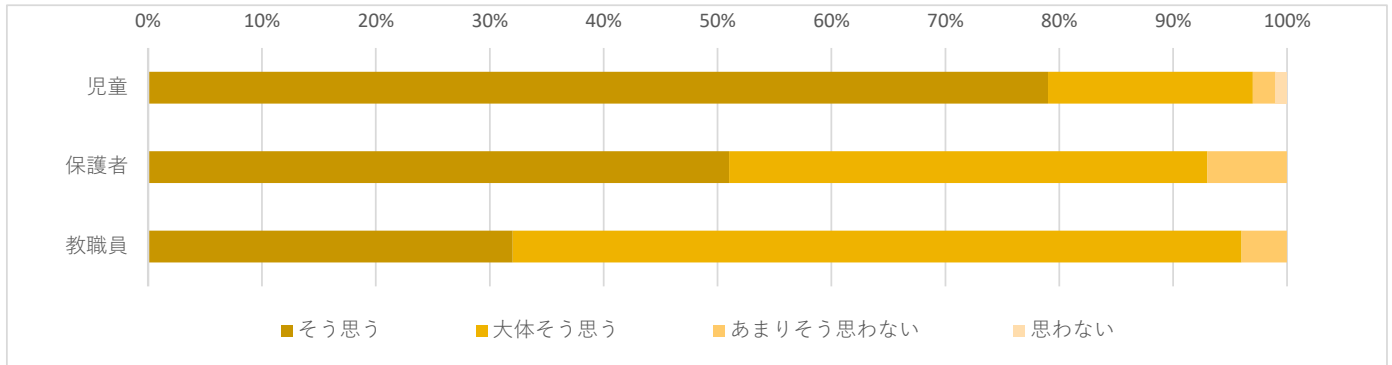
〈考 察〉

保護者の20%が個々のニーズに応じた支援が不十分だと感じていることがわかりました。誰にとってもわかりやすい説明や板書、ICTの活用を心がけた授業を進めるとともに、特別支援コーディネーターが中心となって、保護者との連携を密にしながら、適切な学習や生活ができるような環境を整えてまいります。

⑫ 自ら判断し、身を守る力の育成

- ・ お子様は、安全に気をつけて（交通安全、避難の仕方など）生活していると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉
- ・ 地震や火事のと看、どうすればよいかわかりますか。〈児童質問項目〉

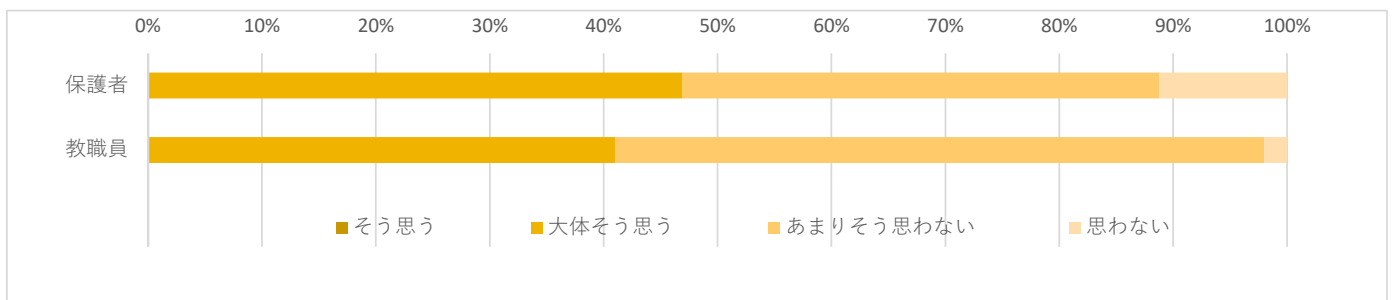
	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
児童	79%	18%	2%	1%	100%
保護者	51%	42%	7%	0%	100%
教職員	32%	64%	4%	0%	100%



⑬ 自ら判断し、身を守る力の育成

- ・ 学校は、登下校の安全確保や不審者対策を実施し、安全で安心できる学校づくりに努めていると思いますか。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	46%	41%	11%	2%	100%
教職員	41%	57%	2%	0%	100%



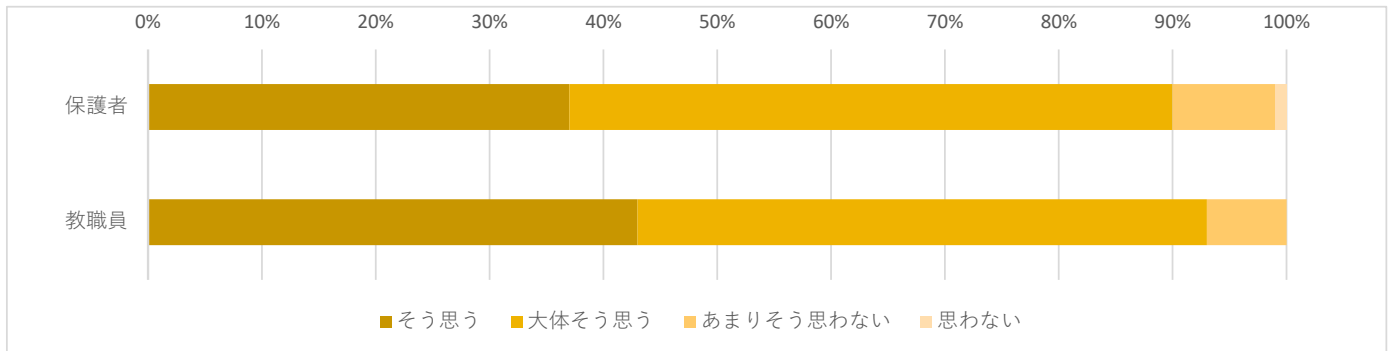
〈考 察〉⑫⑬

本校では、毎朝PTAの皆様に見守りをいただいています。児童が安心安全に登下校することができているのは、保護者の方々の見守りや交通安全パトロールのボランティアの方々のおかげです。学校では、「自分の命は自分で守る」を基本に、自分自身で考えて行動できるように指導しています。しかし、安全や防災・防犯については、学校でできることには限界があり、保護者、ボランティア、地域の方々との連携・協力が必要不可欠です。引き続き、連携強化を図り、安心安全を守っていきたく考えています。

⑭ PTA及び地域との連携

- 学校は、地域の人材を講師として活用したり、PTAと協力して行事や学校環境作りを進めたりするなど、家庭・地域と連携協力して教育活動を推進していますか。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	37%	53%	9%	1%	100%
教職員	43%	50%	7%	0%	100%



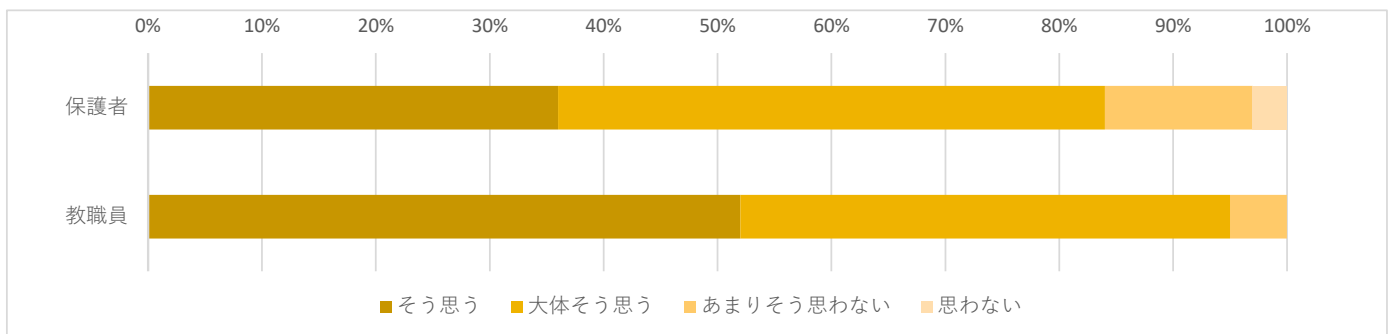
〈考 察〉

保護者の皆様のご協力により、コーディネーターの皆様や執行部の皆様を中心に、運動会や持久走大会、よつぱっこまつり等の運営役員、読み聞かせ、ミシン学習や調理実習の支援、町探検や船戸の森探検の引率、キャリア教育学習の講師、図書室の整理、花壇の水やりなどのボランティア活動を充実させることができました。さらに、児童の安全のため、登校時の見守り当番には多くの皆様にご参加いただきました。クラブ活動では、地域の皆様を講師に招いて児童と一緒に活動するなど、地域との連携を深める教育活動を行うことができました。今後も地域の学校として、今できる地域との連携を模索し、取り組んでまいります。

⑮ PTA及び地域との連携

- 学校は、学校だよりやホームページ等で教育活動の内容、生活の様子等についてわかりやすくお知らせしていると思いますか。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	思わない	計
保護者	36%	48%	13%	3%	100%
教職員	52%	43%	5%	0%	100%



〈考 察〉

お手紙やHPをとおして、保護者の皆様にわかりやすく学校教育活動や児童の様子をお伝えすることは大切であると考えています。紙媒体でのお知らせを見直し、デジタルへ移行するよう進めております。その際にご協力をお願いいたします。今後も学校やお子様の様子を知っていただくために、ホームページ等を活用し、教育活動の内容、生活の様子等についてわかりやすくお知らせしていく必要があると感じています。

その他

- ・ 自由記述にてご意見いただいた内容も含めて、来年度の方向性について

貴重なご意見ありがとうございました。

まずは子どもたちが学校内で安全・安心に過ごせるよう、「よく遊び よく学び みんななかよく」の学校教育目標のもと、教職員一同「よく聞いて よく見る」を徹底し、保護者の皆様と連携、協力をいただきながら、子どもたちの教育に努めて参ります。

○地域や通学路の安全について

学校でできることは限られます。通学路の安全対策は通学路安全推進会議にて、学校からの要望も機会あるごとに続けています。防犯対策はその都度少年センターへ依頼しています。しかし、市民の皆様（保護者）からの声が届きやすいことがあります。ぜひ一緒に改善できるよう今後ともご協力お願いいたします。

○学校行事について

コロナウイルス感染症による制限があった時期よりも以前から、学校行事の精選を進めております。現在も学校行事や部活動のあり方の見直し、精選は続けています。5類に移行したことにより、それ以前の活動状況に全てを戻すことはありません。戻してほしいというご意見もあれば、今で十分や削減を求めるご意見もあります。今後とも精選を図ってまいります。ご理解、ご協力をお願いいたします。

○お手紙や配付物等のデジタル化について

「スクリレ」を活用した配信を進めます。登録をよろしくお願いいたします。